

					(別紙3)
	<div>公表</div> <div>事業所における自己評価総括表</div>				
○事業所名		放課後等デイサービス ウィズ・ユー飾磨			
○保護者評価実施期間		令和8年 1月 8日	～	令和8年 1月 20日	
○保護者評価有効回答数		(対象者数) 19人	(回答者数)	13人	
○従業者評価実施期間		令和8年 1月 5日	～	令和8年 1月 20日	
○従業者評価有効回答数		(対象者数) 7人	(回答者数)	6人	
○事業者向け自己評価表作成日		令和8年 1月 30日			
○分析結果					
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等	
1	保護者(ご家族)への支援体制	・オフィシャルLINEや電話など連絡しやすい方法で気軽に相談していただけるようにしている。 ・子育ての悩みや、きょうだい、学校、家庭での困り事、悩みや不安に寄り添い支援している。		・今後も情報共有し、すぐに対応できる事についてはご家族の思いに寄り添い、迅速な対応をしていく。	
2	活動スペースが広く、のびのびと過ごすことができる	・活動内容に合わせてスペースを区切り、子どもたちが安心して過ごすことが出来る環境を確保している。		・必要に応じて、その都度見直しを行い、職員で意見を出し合い、楽しく安心して過ごすことが出来るよう工夫していく。	
3	季節ごとのプログラムや活動内容	・楽しいイベントも取り入れている。 ・命の大切さや安全に生活する為のルールをカルタやゲームで伝えている。		・活動がマンネリ化しないように見直しを行い、職員間で意見を出し合いながら充実した支援プログラムや活動内容を提供していく。	
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等	
1	非常時の訓練や備え、保護者への周知や理解	・見直し、変更、実施の情報共有を行っているが、直接お伝えする機会が少ない。		・避難訓練の様子や日々の訓練、安全対策など分かりやすく情報共有していく。	
2	地域交流が少ない	・学校終了後、利用時の中で交流する機会は少ない。		・地域の伝統行事などに参加したり、イベント情報収集に努める。	
3					

								(別紙4)
		公表		保護者等からの事業所評価の集計結果				
事業所名		放課後等デイサービス ウィズ・ユー・飾磨				公表日	令和8年 2月 2日	
						利用児童数	令和8年 2月 2日 19人	回収数 13枚
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13名 100%				・広々としています。	のびのびとした室内で活動できるように環境構成に努めていきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13名 100%					十分な職員の配置をしており、安全面に配慮しながら日々活動しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13名 100%				・場面場面子どもにとって分かりやすく、心地良い環境だと感じる。 ・エリア分けされています。子どもも理解し、使い分けてきています。	室内の構造上、段差もありますが、室内の表示で知らせたり安全面に対する声掛けをしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13名 100%				・いつもキレイです。	これからも継続していきます。
適切な支援 の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13名 100%					子どもたちの特性や苦手とすること、保護者のニーズに合った支援プログラムを考えています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13名 100%					これからも継続していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13名 100%				・相談したこと希望したことはスタッフの方々と話し合って頂いて丁寧な対応をしてもらい感謝している。すぐに対応、反映して頂けるので安心している。	引き続き各関係機関と連携を取りながら努めていき、今後も迅速かつ丁寧な対応を心がけていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13名 100%					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13名 100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13名 100%				・毎月活動予定をお知らせしてくれるのでありがたいです。	今後も季節行事を取り入れたり、利用者が楽しめる内容を検討し、マンネリ化しないよう見直しを行っていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8名 62%	1名 8%	3名 23%	1名 8%	・必要性を感じないので求めていない。 ・なくて良いと思っています。	事業所としての他の交流を多くは望んではおらず、校区内の見守り活動などの関わりもあり、無理のない範囲で行なっています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13名 100%					今後も保護者・利用者に分かりやすく説明していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13名 100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9名 69%		1名 8%	3名 23%	・必要性を感じないので求めていない。	事業所としては特に必要と感じてはいませんが、保護者からの必要性や要望があれば検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13名 100%				・しっかり共有していただいていると思います。	今後も継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13名 100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13名 100%					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4名 31%	3名 23%	3名 23%	3名 23%	・必要性を感じないので求めていない。学校での機会でも十分と感じる。 ・機会があっても参加は難しいかと思うのでなくても良いと思います。 ・個人的に特に交流は希望していない為、なくとも大丈夫です。	現状では保護者からの要望は特に無いですが、要望等があれば検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13名 100%					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	13名 100%				・LINEでの連絡や子どもの利用中の様子、写真は 子どもの表情も含め目に見て取れて嬉しい。 ・いつもと様子が違った時等、送迎時に詳しく内 容を伝えてくれます。	これからも継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	13名 100%					今後も継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13名 100%					個人情報が記載されている書類等は全て 鍵付きのロッカーで保管し、取り扱いに は十分に留意しています。
非常 時等 の対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13名 100%					各マニュアルを定期的に見直したり、訓 練を行なうなどしており、変更があれば 保護者に伝え周知に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	13名 100%				・定期的に避難場所へ散歩されていて、 いざという時、子どもも見覚えある所 で安心すると思います。	今後も継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思います か。	13名 100%				・定期的に避難場所へ散歩されていて、 いざという時、子どもも見覚えある所 で安心すると思います。	今後も継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11名 85%	2名 15%			・事故や怪我をしていないので分か らない。	事業所内で事故等発生はありませんが、怪我の大 小に関わらず、視診で気になることを伝え、事故や 怪我が発生した際には迅速に保護者に連絡しま す。
満足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13名 100%				・楽しく通っています。	ありがとうございます。 今後も安心してご利用いただける事業所 を目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11名 85%	2名 15%			・楽しく通っています。	ありがとうございます。 今後も通所したいと思える事業所を目指 していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13名 100%				・とても満足している。色んな事を経 験させてもらえて子どもにとって良い刺 激となっている。 ・いつもありがとうございます。	ありがとうございます。 さらにより良い支援を提供できるよう取 り組んでまいります。

						(別紙5)
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">公表</div> 事業所における自己評価結果				
					公表日	令和8年 2月 2日
事業所名	放課後等デイサービス ウィズ・ユー飾磨					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・広く設定し、活動に応じたスペースの使い方をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・職員の規定人数以上配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・一段差あり。安全に過ごすために「段差注意」の表示あり。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・職員全体で話し合い、支援の向上に努めている。	・目標設定はしっかりとしているが、それ以上に振り返り、職員共有をしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・実施している。	・アンケート結果を受け、必要に応じて検討し、今後の支援に向けて改善する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・第三者評価なし。	・今後、必要があれば検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・外部研修の参加や内部研修を実施し、資質の向上に努めている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・公表している。	・定期的に見直しをし、ホームページに公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・個々の状況を把握し、個別の対応や集団活動につながる支援に努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			・これからも職員で共有し、しっかりと周知を行う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・必要に応じて見直しを行なっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・五領域に沿った支援を行えるように適切に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・色々な体験が出来るように立案を行なっている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・定期的に見直しを行なっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・情報を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・支援内容や工夫したところなど、共有し支援につなげている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・正しく記録し、支援の検証、改善、振り返りにつなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・年2回のモニタリングを行い、その他必要に応じて行う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・ガイドラインの総則も参考にしながら行なっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・行なっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・行なっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・送迎時、引き渡し時の情報共有を行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・必要に応じて行う。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・必要に応じて移行先への情報共有に努める。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・外部の方からの助言もある。 ・研修を受講している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・行なっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時や連絡帳、LINEなどで日々の様子を伝え、共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	・保護者から要望はありません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	・アンケートで必要性がないという意見が多く、事業所としても同意見。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情があれば、迅速かつ適切に対応する。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月の活動予定を知らせ、支援プログラム見直し時も知らせている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・はい。就業規則等に定めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・行なっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・機会があれば行う。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・はい。変更時PDFで送付。 ・玄関に設置している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・はい。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・はい。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・行なっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・内容共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待チェックリストも行い、意識向上に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・行なっている。	